記者発表資料

令和６年７月２９日
国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所
山形県県土整備部河川課

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクトの進捗状況
～令和４年８月豪雨から２年～

令和４年８月出水により甚大な被害が発生したことから、再度災害防止のため対策を進めている「最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト」の進捗状況（令和６年度）について発表します。

〇氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策〇

＜河道掘削（河川水位を低下させ流下能力を確保）＞

・国管理区間の最上川本川（白鷹町～南陽市）において全体掘削量約１４万 m3 の河道掘削が全て完了（令和６年３月）しました。

・県管理区間の支川置賜白川（おきたましらかわ）や元宿川（もとじゅくがわ）などにおいて全体掘削量約１０万 m3 の河道掘削が全て完了（令和６年３月）しました。

＜災害復旧（被災した堤防や護岸の復旧）＞

・国管理区間の被災箇所１０箇所で工事が全て完了（令和６年３月）しました。

・県管理区間の被災箇所１００箇所全てで復旧工事に着手し、うち８０箇所で工事が完了しました。

＜災害復旧（再度災害防止のための河道整備）＞

・県管理区間の支川萩生川（はぎゅうがわ）・小白川（こしらかわ）（飯豊町）において流下能力の向上を図る河道整備（改良復旧）の約９割の区間で工事に着手（９工区中１工区完成）し、令和７年度の完了に向け鋭意工事の進捗を図っています。

〇被害の軽減、早期復旧・復興のための対策〇

・山形河川国道事務所及び新庄河川事務所では、令和２年７月豪雨から４年、令和４年８月洪水から２年に関する行事を実施中。（予定含む）

・山形県では、水害リスク情報空白域の解消のため、新たに中小河川等４８４河川の洪水浸水想定区域を令和６年度に指定する予定。

今後とも地域と連携しながらプロジェクトを推進し、安全で安心できる地域づくりを目指します。

《発表記者会》山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ、山形建設業界専門紙

問合せ先
○国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所 TEL　０２３－６８８－８４２１（代表） 副所長（河川）　山影（やまかげ）　修司（しゅうじ） ○山形県　県土整備部　河川課 TEL　０２３－６３０－２６２０（直通） 河　川　課　長　佐藤（さとう）　崇（たかし）

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

令和4年8月出水により最上川上流部で甚大な被害が発生したことから、再度災害防止のための「最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト」を策定し、対策を実施。（全体事業費　約102億円（国管理区間約21億円　県管理区間約81億円）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策
- ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】
  ※最上川上流の全域を対象
- ・災害復旧、河道掘削等【県】

○集水域での対策
- ・内水調整池の整備【高畠町】
- ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
- ・田んぼダムの推進【長井市他】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策
- ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高畠町】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策
- ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイタイムラインの普及促進【長井市他】
- ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります

【対策箇所】



【R4.8最上川沿いにおける内水浸水面積】
A=438ha



※災害復旧箇所は、代表箇所を表示しています。

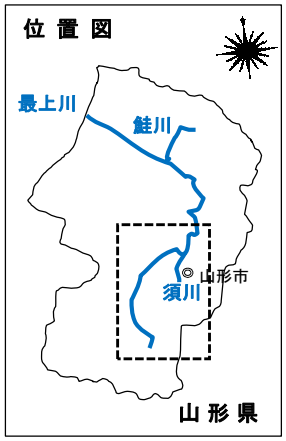
＜事業スケジュール＞

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
緊急治水対策（R7年度まで）					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削（国）				約14万m3完了
	河道掘削等（県）				浸水箇所、支川の掘削完了
	災害復旧（国） ※最上川上流の全域を対象				災害復旧完了
	災害復旧・河道整備（県）				
	内水調整池、準用河川の堤防整備等（町）				
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等（高畠町）		計画作成（R4）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化				
	水害リスク情報の充実と復旧				

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

○令和４年８月出水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、再度災害防止対策を実施。



■全体事業費
約102億円

■事業費　約21億円（国管理区間）
■事業種別
○災害復旧　全体事業費　約10億円（県内10箇所）
　　事業期間　令和4年度～令和5年度
○推進費　全体事業費　約11億円（最上川）
　　事業期間　令和4～5年度

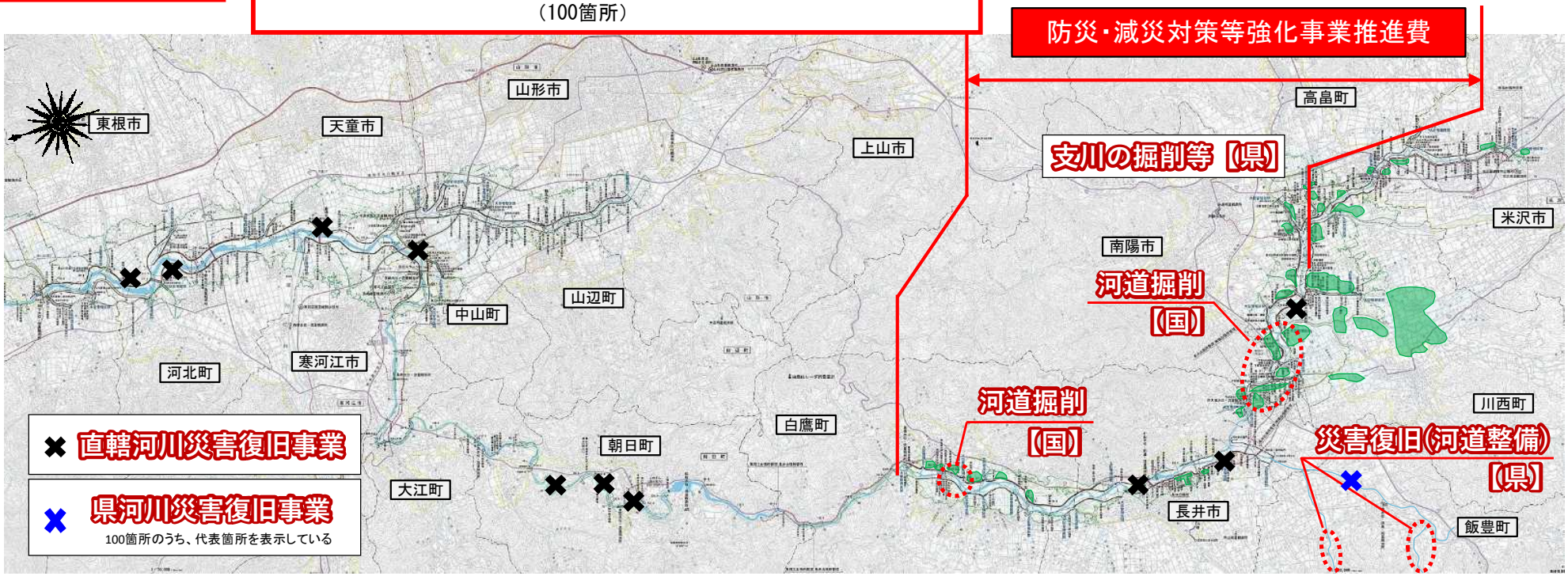
■事業費　約81億円（県管理区間）

■事業種別	全体事業費	事業期間
○緊急浚渫推進事業債	約 4億円	令和4年度～令和5年度（約40箇所）
○緊急自然災害防止事業債	約10億円	令和4年度～令和5年度（約40箇所）
○災害復旧(河道整備)事業	約31億円（小白川、萩生川）	令和4年度～令和7年度
○災害復旧事業	約36億円（100箇所）	令和4年度～令和6年度

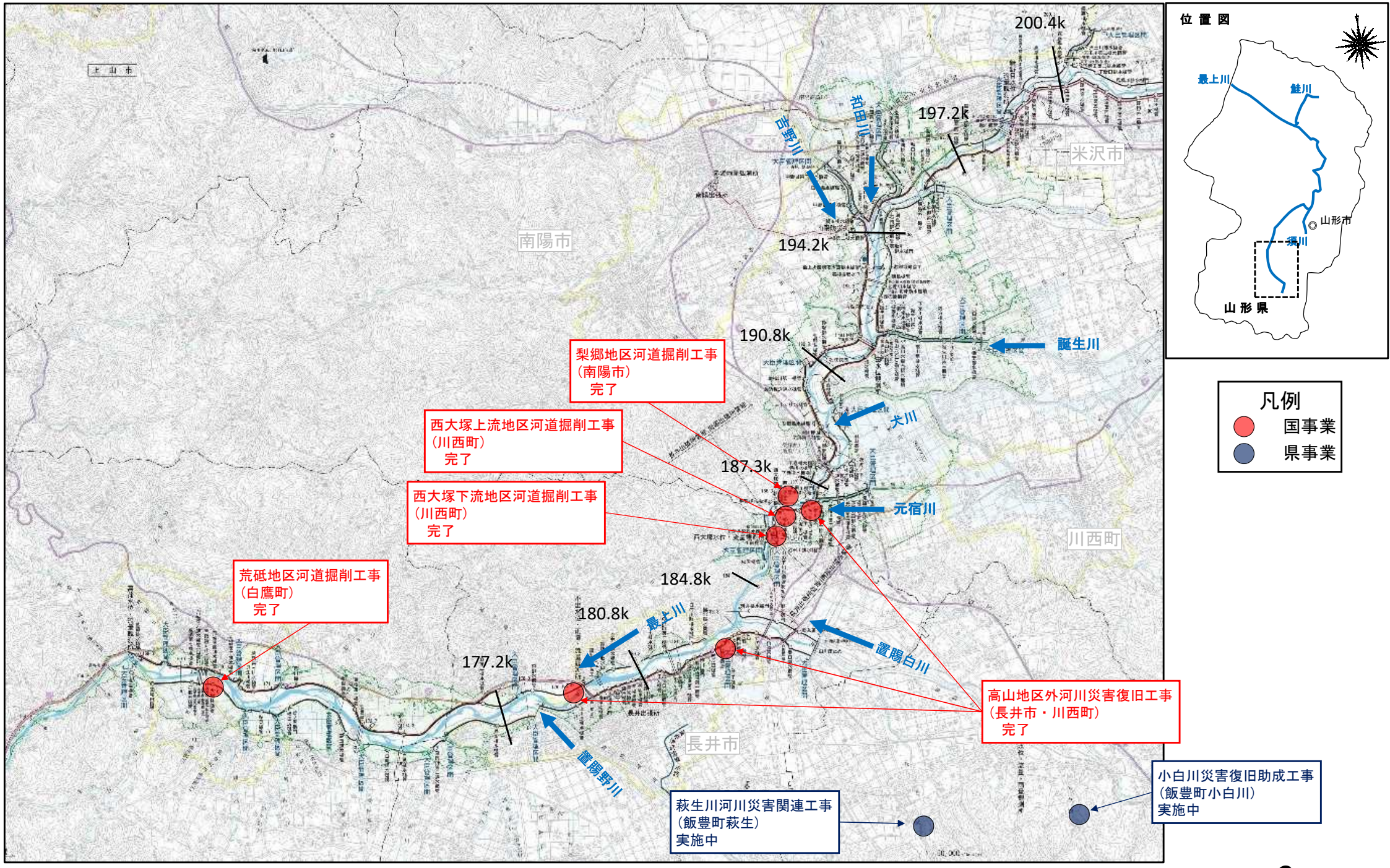
凡例
- ✖ 堤防・護岸等被災箇所
- 改良事業箇所(掘削)
- 令和4年8月豪雨浸水範囲

防災・減災対策等強化事業推進費
事業内容：河道掘削　約１４万m^3
事業期間：令和４～5年度

直轄河川災害復旧事業
事業内容：漏水対策 3箇所、護岸工 4箇所、観測施設3箇所
事業期間：令和4年～令和5年度



最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト　主要事業箇所



最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【白鷹町・川西町・南陽市】

河道掘削（国）

○最上川本川の河川水位を低下させるため、西置賜郡白鷹町鮎貝地先～南陽市梨郷地先で約１４万m3の「河道掘削」及び「樹木伐採」が全て完了。

白鷹町鮎貝地区

着手前



掘削完了

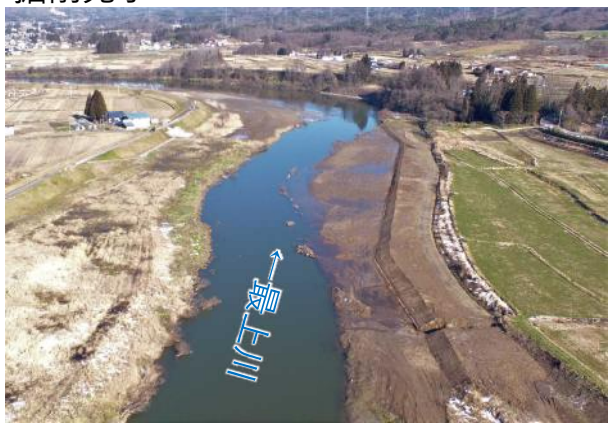


南陽市梨郷地区

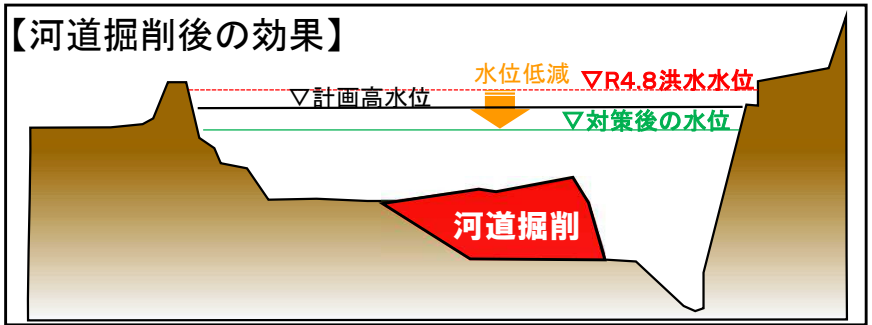
着手前



掘削完了



【河道掘削後の効果】



河道掘削によりR4.8洪水時の水位を計画高水位以下まで低下。

掘削状況

川西町西大塚地区



最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【長井市・川西町ほか】

災害復旧（国）

○最上川本川の被災した堤防や護岸の災害復旧箇所１０箇所全てで復旧工事が完了。

被災状況　川西町高山地区



工事完了　川西町高山地区

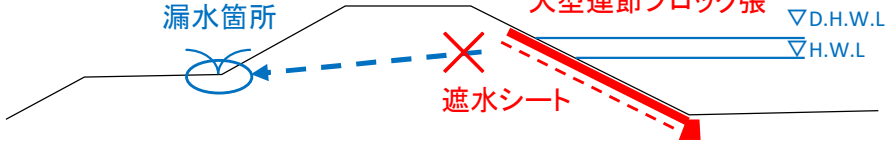


浸透対策箇所の表法面は覆土により大型連接ブロック張を被覆

工事状況　川西町高山地区



復旧イメージ



堤体内への河川水の浸透を表法面を被覆することで抑制し、漏水を防ぎ堤体の安全性を向上

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

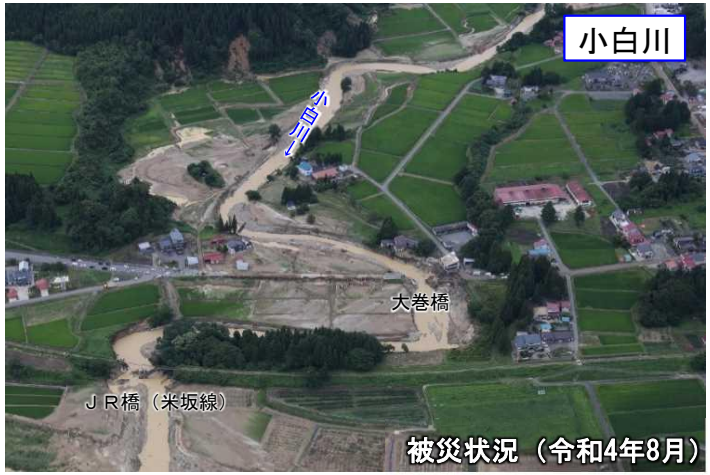
～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【飯豊町】

最上川の支川における対策（県）

災害復旧(河道整備)

- ○ 大規模な溢水被害が生じた萩生川と小白川において、再度災害を防止するため、流下能力の向上を図る「改良復旧」を実施中
- ○ 令和５年６月に河川整備計画を策定、約９割の区間で工事着手９工区中１工区完成
- ○ 事業期間：令和４年度～令和７年度



被災状況（令和4年8月）


小白川施工状況・第１工区完成（令和6年3月）

改良復旧事業のドローン映像（R6.6月末撮影）をYouTubeにて公開しています

萩生川

小白川



被災状況（令和4年8月）


萩生川施工状況（令和6年6月）


萩生川施工状況（令和6年6月）

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【飯豊町・米沢市　他】

最上川の支川における対策（県）

河道掘削等

1. 目的

出水による堆積土砂や流木の撤去を行うことで、河川の流下能力を確保し、浸水被害を防ぐ。

2. 取組

置賜白川や元宿川など、県が管理する支川の河道掘削等を実施する。

事業期間：令和４年度～令和５年度

【河道掘削のイメージ】







災害復旧

1. 目的

豪雨に伴い被災した河川管理施設（護岸、護床など）の早期復旧を図る。

2. 取組

犬川や鬼面川、遅谷川など、県が管理する支川において、災害復旧を実施する。

事業期間：令和４年度～令和６年度





最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

特設WEBサイト充実化

緊急治水対策プロジェクトの内容や取組み状況を紹介するとともに、復旧状況を確認できます。

【最上川中流・上流
緊急治水対策プロジェクト】
（http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/project/）

◂ スマートフォン等からのアクセスは、このQRコードからできます。



【最上川上流（置賜地域）
緊急治水対策プロジェクト】
（http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/project2/）

◂ スマートフォン等からのアクセスは、このQRコードからできます。



まるごとまちごとハザードマップ 痕跡表示

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である まちなかに、洪水・内水に関する情報、避難所及び避難誘導に関する情報を表示する取組です。
長井市舟場・屋城町・東町地区において､想定最大規模降雨での浸水看板を令和５年８月に設置しました。





小学生向け防災講座

自分達が住む地域の水害の可能性や、洪水への事前の備え、避難の重要性に関する防災授業を行っています。
（写真は令和5年9月19日　川西町立中郡小学校の実施状況）





最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト
～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

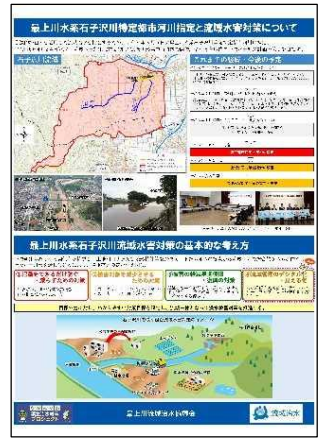
巡回パネル展

水害からの備えを忘れないよう、令和2年7月豪雨や令和４年８月出水の振り返りとして巡回パネル展を開催中です。
（7月22日～10月15日）









イベント時における水防災啓発活動

日本一の芋煮会などイベント開催時における水防災啓発活動（降雨体験など）を実施します。





最上川上流危機管理演習

本格的な洪水期を向かえるにあたり、多発する水災害への備えとして、関係市町及び山形県、国土交通省と連携して、実践的な危機管理演習を行います。





最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト
～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

水害リスク情報空白域の解消（洪水浸水想定区域の追加指定）

県は、令和元年度までに指定した70河川に加えて、あらたに中小河川等484河川を令和６年度に指定する予定です。

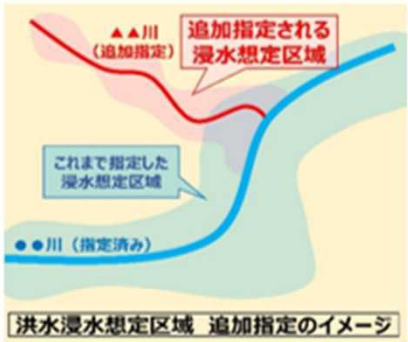
村山地域は令和6年6月14日に指定

最上･置賜･庄内地域は令和7年3月指定予定

▸ 県ホームページに掲載する洪水浸水想定区域図はQRコードからアクセス可能

山形県は484河川の洪水浸水想定区域を追加指定します

- 河川を管理する国土交通省や県は、水防法に基づき、**河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」に指定**しています。
- これまで、最上川や赤川等、水防上重要な河川（※１）で指定してきましたが、令和３年に水防法が改正され、**すべての河川（※２）が指定の対象**となりました。
- **県は、令和元年度までに指定した70河川に加えて、あらたに中小河川等484河川を令和６年度に指定する予定**です。
- 洪水浸水想定区域は、**市町村のハザードマップにより県民へ周知され、命を守る行動に役立てられます。**



洪水浸水想定区域　追加指定のイメージ

洪水浸水想定区域 ＋ 避難に役立つ情報（避難場所、避難路など） ＝ 洪水ハザードマップ

河川管理者（国土交通省・県）が指定します　　市町村が作成・配布します

- **洪水浸水想定区域の追加指定は、これまで未指定だった中小河川等の氾濫リスクを示し、「河川の氾濫リスク情報空白域」の解消を図ることで、避難行動に役立てていただくための取組です**
- **「氾濫する範囲がこれまでよりも増える」「地域の災害リスクが増大する」ことではありません**

※１ 水防法第11条第1項の洪水予報河川、第13条第2項の水位周知河川　※２ 国土交通省及び県が管理するすべての河川

洪水浸水想定区域とは（水防法第14条第2項）

- 洪水浸水想定区域は、**想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域**を地形等をもとにシミュレーションしたものであり、想定される浸水深と併せて公表します。
- **「想定し得る最大規模の降雨」**とは、国土交通省の基準による**発生確率が1,000年に１回程度**の大きな降雨規模のことで、追加指定する河川についても条件は同じです。
- これは、**施設では守り切れない事態においても、少なくとも命を守ることを目指す**ために、極めて大きな洪水を想定しているものです。



洪水浸水想定区域の確認方法

- 洪水浸水想定区域は、各総合支庁建設部各河川砂防課、県土整備部河川課、及び山形県ホームページ（ホーム>くらし･環境>社会基盤>河川･ダム）から閲覧できます。

県民の皆様へのお願い

早めの情報収集が「命を守る行動」につながります

- 追加指定される区域だけでなく、すでに指定された区域においても、**河川の氾濫リスクをご理解いただき、大雨に対する心構えを高めていただくようお願いします。**
- 大雨が予想される場合は、**気象台が発表する防災情報（「キキクル」等）、県が提供する「河川･情報システム」等の河川水位情報、市町村が発表する避難情報等を確認いただき、迅速･的確な避難を心がけてください。** ※裏面もご覧ください

